

いのちの森

出会える生き物と森での活動



森の成長を見守る！ 生き物調査

専門家と市民で構成される京都ビオトープ研究会「いのちの森モニタリンググループ」は、何もないところからつくられた森で「生き物たちがどんなドラマを繰り広げるか(どんな生き物が新たに棲みつくのか?生き物の数は増えたり減ったりするのか?など)」を調べることで「どれだけ自然を回復させることができたのか」を1996年の開園時から調べてきました。調査の結果、外来種が出現するなどの課題もありますが、「人工の森」だったいのちの森が「ほんものの森」になりつつあることが分かってきています。植物・鳥・昆虫・キノコなどの調査に興味のある方はどうぞお気軽にお越し下さい。

【主な活動日】毎月第3土曜
【問い合わせ】075-561-1350(緑化協会), URL: <http://inochinomori.sakura.ne.jp/>



まちなかで生き物を学ぶ！ 自然観察会

いのちの森は都心部における生き物のオアシスであるばかりでなく、まちなかで自然に触れ合い学ぶことができる貴重な場所です。例えば、子供の稲作体験やヤゴの観察、いのちの森モニタリンググループメンバーによる解説付きの観察会など、多様なプログラムを体験することができます。

【自然観察会】毎月第3土曜日
【こども自然観察会】5～10月(1回/月)
【グリーンフェア自然観察会】5月・10月



京の文化を守る！ 和の花の避難

京都の山々では、文学や生活、お祭りなどに利用され身近に親しまれてきた京都ゆかりの植物が姿を消しつつあります。森の木を切らなくなったことで森が暗くなり、これらの植物が生育しづらくなったことや、増えすぎたシカに根こそぎ食べられてしまうことが原因とされています。

いのちの森では、シカが入ってくるできないまちなかの立地を活かして、京都の山々で希少になってしまった植物を避難させています。

